

- 会 議 名 令和5年度 第4回八雲町社会教育委員会議
- 日 時 令和6年3月18日(月) 午後6時00分～午後7時10分
- 場 所 八雲町公民館 第1集会室
- 出席委員 9名  
間瀬龍生、池田忠寛、鈴木馨、吉田久子、小林元彦、小出政彦、河西大眞、  
前川伸也、寺田裕
- 説 明 員 教育長、社会教育課長、社会教育課長補佐、文化財係長、  
社会教育係主任、熊石教育事務所教育推進係主事

\*傍聴者なし

《会議録要旨》

- 1 開 会 社会教育課長
- 2 あいさつ 八雲町教育委員会 教育長 土井 寿彦  
八雲町社会教育委員 委員長 小林 元彦
- 3 議 題
- (1) 令和5年度 社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告について  
○説明員より説明。  
◆質疑なし
- (2) 令和5年度 社会教育委員各部会等活動報告について  
○説明員より説明。  
◆質疑なし
- (3) 令和6年度 教育行政執行方針について  
○説明員より説明。  
◆質疑なし

(4) 令和6年度 社会教育関係予算について

○説明員より説明

**委員**～令和6年度から職員費が新設されたが、以前はどここの項目に含まれていたのか。

**説明員**～施設の管理人の報酬などを職員費に計上している。公民館管理人は公民館費、資料館管理人は郷土資料館費など、それぞれの科目で計上されていた予算が職員費に一括計上となった。

施設関係の予算で減額となっている部分は、職員費へ移行したものが主な要因となっている。

(5) 令和6年度 社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画案について

○説明員より説明

**委員**～事業を計画している立場で、現在実施している事業の中から課題のある事業・変化が必要な事業を原課でピックアップして示してもらえると意見を出しやすい。

**説明員**～世代や分野で様々な課題がある。例として、国際交流事業はALTを講師として英語に触れる内容で実施しているが、幼児対象は人気だが小学生対象は参加者が少ない状況にある。今は小学校でALTと触れ合う機会が増えていることも要因と考えられる。

また青年対象事業も参加者が少ない状況。青年学級「YOU・遊・クラス」は今年度新しい参加者が増えたことで開講できたが、人集めに苦労している。まちづくりの担い手育成のために、青年教育は重要な分野であるので、今後も充実のためにより良い方法を検討していきたい。

**委員**～大きなイベントとしてまとめて実施する方法もあるのではないかと。事業のタイアップとして、例えば、鮭の観察会にALTも同行して英語で説明してもらおうなどどうか。

**委員**～青年関係の話に関連して、3月22日～23日にかけて青年問題研究集会と道外研修視察の報告会が行われるので、是非参加してほしい。道外研修は団長として参加し、青年問題研究集会では、高校生や青年などをターゲットとした内容のお話をしてもらおう予定である。

**委員**～小牧市・八雲町児童・生徒学習交流事業に興味がある。これまではどのような形で実施していたのか。

**説明員**～令和5年度までは学校教育課の所管事業として実施。コロナ禍で数年中止していたが令和5年度から再開した。以前は小学生の相互交流であったが、今年度から八雲からの派遣を中学生として実施した。

夏休みに小牧市の小学生を受け入れ、冬休みに八雲の中学生を派遣という形で実施した。

令和6年度から社会教育課の担当となるが、今後どのような形で事業を進めていくか検討していく。

**説明員**～元々は八雲での受入れの際にホームステイを行っていたが、家庭の事情などもあり受け入れの難しさが浮き彫りになった。そういった事情などから八雲の小学生の参加者が少なくなったこともあり、派遣は中学生とした。派遣も小学生となると夏休みと冬休み両方の日程をおさえる必要も出てくる。

**委員**～小牧市派遣（学習）の目的をより明確化してはどうか。子どもたちのニーズとうまく合致すれば、応募する子も増えるかもしれない。その年によって子ども（対象学年）も変わる。アンケートをとるなど、子どもの意見を吸い上げる機会を設けてはどうか。

**委員**～町長と高校生の意見交換について、これは一般に公開されなかったのか。総合的な探求の時間で高校生達の発表を見学したが、素晴らしい内容であった。是非町民の方々が見られるような形で実施してはどうか。（提案）

#### （6）その他

**説明員**～4月になって人事異動等により委員の構成が変わることが想定される。新体制になってから部会構成の調整を行うことを検討している。

## 4 閉 会